

＜中学部 授業研究会 記録＞

日にち：平成 25 年 10 月 2 日（水）

指導者：佐藤（礼）佐藤（洸）他 8 名 授業：保健体育「ダンス」

参加者：18 名

	「ありがとう」自己有用感に関わること	その他
+ （良かった支援）	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>教材の良さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ動きの繰り返しでわかりやすい。 ・みんながつながること で一体感を感じられる。 ・体を動かす→心の開放 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>グループ分けの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割りにすることで交流が深まる。 ・名前を呼ばれる→所属感 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>役割の設定（リーダー・見学者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲喚起、リーダーシップの育成。 ・グループ・仲間を意識→一体感。 ・見学者も参加しているという意識に。 ・生徒同士の関わりが増え、コミュニケーションの向上に。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; margin-top: 10px;"> <p>評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良かったグループ、良かった人への賞賛。 ・見学者、グループへの相互評価と形成的評価に。 </div>	
- （課題）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>参加できない生徒への支援の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的意識 *大人っぽい動き、知っている曲などを取り入れる。 *T T の共通理解、役割分担 </div>	
まとめ （自己有用感向上に大切と思われる事項）	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【集団への愛着】（帰属意識） 集団、一体感、仲間意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グルーピング（大、小）の工夫。 ・子ども同士のかかわりの設定 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>【意欲を持つための工夫】（心の安定） できる わかる たのしい 快の気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割設定。 ・良いところを評価する。 ・興味・関心を引き出す。 ・わかりやすい活動。（繰り返し、視覚支援） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>【自主性を養う】（成就感） ～のために ～するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的を持たせる。 ・教材の工夫。 ・目標をもたせる </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>【評価の工夫】（心の安定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褒める。 ・自己肯定感。 </div> </div>	